

な報
第22号

上野東部だより

2012年8月1日
発行
東部地域住民自治協議会
総務広報部会
伊賀市緑ヶ丘本町1681-8
上野東部地区市民センター内
TEL・FAX 24-3999



上野東小学校

中庭コンサート

5月31日(木) 上野東小学校(緑ヶ丘中町)の校舎中庭でピアノ、エレクトーンのコンサートがありました。

コンサートの冒頭には、昨年の東北の震災で被災した小学生に同校4年生と、他2校の児童で、絵手紙を作り送りました。そのお礼の絵手紙が届いたという報告を4年生の代表児童がしてくれました。絵手紙には、「絵手紙ありがとうございます」「一緒にがんばりましょう」「何もかも流れました。学校も流れました。今は新しい学校でがんばっています。」という言葉が添えられていました。谷口校長先生は「この絵手紙と一緒に音楽を聴いて、また一緒にがんばっていこうというメッセージが贈れたらと願っています」と話され、コンサートが始まりました。

「ワンピースメドレー」が始まると人気ある大好きなアニメの曲とあって「イエーイ」と歓声が。「クラシックメドレー」では思わず指揮者のように腕を振る児童も。音色が児童たちの心に響いているのが伝わってくる瞬間でした。

5年生のソプラノリコーダー「エーデルワイス」の演

奏や、6年生の「翼をください」の合唱はとても見事で、大空の下で歌う6年生の歌声はひとつとなって今にも羽ばたいていくそなくらい素晴らしいものでした。

最後に各学年から1名ずつ代表で感想を発表する場面で、3年生の女子児童が「私は6年生の歌がすごくよかったです」と発表すると、「お~」という声があがり6年生がとても嬉しそうに、照れくさそうな笑顔を見せていたことがとても印象的でした。6年生代表の男子児童は「僕たちはもう卒業で、このコンサートは今年で最後となります。毎年とても楽しみにしていたのでこれからもずっと続けて欲しいです」と発表し、とても名残おしいようでした。



〈取材：松永真知子〉

役員構成

役職・役員名(所属団体組織名)

会長	自治会 (緑ヶ丘西町) 今高一三	理事	自治会 (上野田端町) 増井潔史	理事	環境美化代表 中尾節子
副会長	健康の駅長会 服部明	//	// (北平野) 寺岡清司	//	体育指導委員代表 北田稔
//	小中学校長代表 谷口修一	//	// (城北) 中井猛	//	健康の駅長会 健康福祉部会長 湯矢澄子
//	東部老人クラブ会長 防災防犯交通安全部会長 宮田淳	//	自治会(緑ヶ丘東町) 教育文化スポーツ部会長 半田政次	//	環境保全部会長 平井つゆ子
会計	自治会長OB 佐藤包治	//	// (緑ヶ丘中町) 青木隆明	//	人権啓発部会長 民生委員OB 寺山範茂
理事	自治会 (上野車坂町) 平井征士	//	// (緑ヶ丘本町) 福森博	//	自治会長OB 杉本秀行
//	// (上野農人町) 吉岡登	//	// (緑ヶ丘南町1) 松裏伊三男	//	自治会長OB 森永喜丈
//	自治会(上野伊予町) 産業振興まちづくり部会長 阿波弘康	//	// (緑ヶ丘南町2) 吉村伸明	監事	民生委員代表 米井俊祐
//	// (上野寺町) 山口義美	//	// (服部団地) 辻井眞理子	//	自治会長OB 房川忠郎
//	// (上野玄蕃町) 岡本章	//	民生委員OB 森本美奈子	参与	前公民館長 総務広報部会長 田山干城
//	// (上野赤坂町) 竹島英喜	//	消防団 中部北分団長 山出政司	事務局長	公民館長 小西也人

実行委員会(部会)活動、今年もやります。ぜひご参加を!

総務広報部会

読んでいただける広報誌を目指して、部会員一同がんばります。

でもそれには、地域会員の皆様の情報提供が命、まずは市民センター事務局にご一報下さい。



健康福祉部会

地域の人たちとの交流の場として気軽に参加していただき、健康に対する意識を持ち続けてもらえる活動を考えています。

- 体力測定 7月8日実施済み
年に一度自分の体を知ろう
- 熊野古道を歩こう
10回目、今年は最終年
- 転倒予防教室 9月30日
イスに腰掛けた状態で筋力低下を防ぐ体操
- 高齢者見守り活動 12月初旬
75歳以上対象、民生委員さんと訪問、小さなふれ合いの積み重ねを考えたい。



環境保全部会

- 環境講座「節電教室」 6月8日実施済み
- 布ぞうり作り 7月21日実施済み
- お花畠(伊吹山)自然観察会 7月末実施済み
- 環境施設見学 11月予定
- クリーンウォーク
矢谷川…6/10、12/2、3/3、4/14
緑ヶ丘周辺…8/5
旧町部・北平野…10/7
- 環境保全部だよりの発行

教育文化スポーツ部

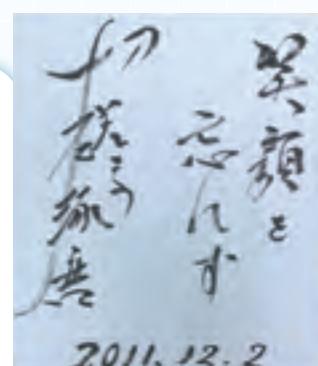
- ホタル鑑賞会 6月16日実施済み
青山博要地区
- 文化講演会 8月予定
講師福井健二氏
- 文化講演会 期日未定
講師奥西氏(維雅幸育会)
- スタンプラリー&ネイチャークラフト
11月3日
- 東部地区スポーツ大会
3月23日・24日
- 視察研修
- 伊賀市シティマラソン警備



人権啓発部会

互いに心豊かで幸せな人生を送るために今年も活動します。

- 人権地区懇談会(上野車坂町) 8月21日
- 講演会 9月8日 <田端町在住 其道嘉代子元校長>
- 研修視察～箕面市、県内先進地 11月9日
- 人権落語会 12月7日 <人権落語家 表現舎「乱坊」>



産業振興まちづくり部会

伊賀・大和路「灯りの芭蕉路」の協賛事業、紀伊長島直行の魚や比自岐住民自治協議会の野菜、果物等で「新鮮市」に取り組みます。



防災防犯交通安全全部会

ひとたび大災害が起きたとき、あなたはどう対応しますか。今年も安心安全な暮らしのために活動します。

- 青色回転灯装着車による自治会単位の巡回
- タウンウォッチ 7月21日 実施済み
- 防犯講習会 7月28日 実施済み
- 防災訓練 10月20日
- 交通安全講習会12月
- 年末特別パトロール
- 先進地視察 2月
- 防犯マップの更新
- 災害時協力井戸 登録制度の推進



わが町 上野田端町

いきいきとした元気な町づくりを目指して!

平安時代頃の上野の中心地は現在の小田町で、いまの上野の町は山林原野でありました。小田の上の野原から上野の地名が生まれたと言われています。戦国時代に大和郡山から筒井定次が入り、上野の北にある台地に城を築きました。

徳川の時代になり、藤堂高虎が津と上野を領し、上野の城を大改造、拡張して西軍に対する構えとしました。その折りの城下町づくりで、今迄の北方にあった正門を南に移し、その外側に神社、寺院を配しました。更にその東方、南方に重臣の下屋敷を置き、敵の襲来時にはそれらの建物を防御に、また普段は城下町の警備にあたらせました。



増井潔史自治会長

表1
昨年1年間の取り組み

グランド・ゴルフの集い	6/12
ラジオ体操	7/21~8/31
日帰り旅行（バス旅行）	8/28
上野田端町敬老祝賀会	9/19
上野田端町文化祭	11/5~11/6
上野田端町防災訓練	11/20
ふれあい会（世代間交流会）	1/22

表2
毎月の行事日程

いきいきサロン	第1木曜日
絵手紙教室 卯の花会	第2日曜日
うたごえサークル	第2土曜日
手芸クラブ	第3木曜日
趣味の会 俳句会	最終日曜日
老人クラブ	毎月の17日

わが町、上野田端町は1710年（宝永7年）の宗国史によると、29町で一番東南の端にあり、当初は6軒の重臣の武家屋敷（下屋敷）でしたが、その後、藩の薬草畠ができ、また田端町の東南に続く荒蕪地であった野田・野畠（現在の緑ヶ丘）の開墾が奨励され、農家もできて30戸余りになりました。しかし戸数については警備上の関係からか、これ以上増やせなかつたようです。

それも明治になり戸数が増加し、また昭和のバブル期にはその開拓地にも宅地化が進み、今では、町の南側に野田水利組合の水路が僅かに形を残すだけになっています。



現在の上野田端町の戸数は約400戸です。町にはこれといった企業もなく、当初の武家屋敷等の面影と町の守り神としての秋葉神社を見るだけですが、住民の繋がりを重視した多くの取り組みを行っています。

上野田端町自治会は東部地域住民自治協議会との連携を密にするために5つの部会（「総務・広報」、「健康・福祉」、「環境保全」、「教育・文化・体育」、「防災・防犯・交通安全」）と4つの専門部（「児童福祉部」、「老人クラブ」、「民生活動」、「スポーツ少年団」）及び「自主防災会」を設置し、町内の交流を図り元気な町づくりをしようと60名以上のメンバーで取り組んでいます。（表1、表2参照）



右は現在、環境保全（環境整備）の活動として新しく出来た団地の緑地に花壇造りを行っているところです。

（文：増井潔史、写真：中森啓太郎）



明るく元気で優しい子に

大正7年に創設された学校法人白鳳幼稚園が昨年9月、上野丸之内から上野伊予町に移転し、まもなく1年を迎えるとしています。旧伊賀市立しろはと幼稚園を改装して始まった新しい園生活の中で、子ども達も保護者の皆さんも有意義に過ごしています。

取材初日はPTAバザーが開催されており、在園児、その保護者の方々や地域の方々など多くの方が訪れていました。園児たちは各クラスで絵を描いたり歌を歌ったり、年長児クラスでは自分たちで司会進行を任されて朝の会を行うなど、それぞれ一生懸命な姿が印象的でした。

園長の坂下先生は「こちらに移転したことで、園舎も園庭も随分広くなり

子ども達が今まで以上に伸び伸び元気に過ごす姿に喜びを感じています。以前は駐車場も狭く送迎の際は非常に慌ただしかったのですが、今では保護者同士がゆっくり話せる環境も整い、近隣の方々を始め皆さんのご理解にも感謝しています。」とおっしゃっていました。

白鳳幼稚園では毎週月曜日に仏参が行われ、園児たちは数珠を手に仏様を拝みます。いつもにぎやかな子ども達もその時ばかりは静かに目を閉じ、心の中で何を思い、願っているのでしょうか。卒園児の保護者は「白鳳幼稚園の園訓にもある『優しい子になります』の教えのお蔭で、人を思いやる心を培(つちか)うことが出来ました。」と話してくれました。近く行われる「夕涼み会」

では盆踊りやゲームなどで楽しむ子ども達のかわいい声に耳を傾けてみて下さい。

〈取材：佐山 雅代〉

学校の概要

学校法人 白鳳幼稚園	
伊賀市上野伊予町1067-1 ☎ 052-21-0091	
園児数 97名	年少児…35名
	年中児…35名
	年長児…27名



白鳳幼稚園



坂下園長先生

大災害に備えて



その1 上水道管が各所で破裂したら? ……井戸水の使用

そんなときに備え、東部地域住民自治協議会では、地域のみなさんが所有されている井戸をまず調査することになりました。その上でご理解が得られれば「災害時協力井戸」として登録し、大震災などの災害時に地域のみなさんに井戸水を提供していただく制度を設けることに致しました。

井戸水の使用は災害時のみです。飲料に適さない場合でも、生活用水として活用できます。後日、自治会を通じて、町内の「井戸所有者調査」の文書を回覧しますのでご協力ををお願いいたします。



その2 大停電したら? ……小型発電機を設置

去る7月13日、東部地域住民自治協議会は、伊賀市社会福祉協議会上野支所会費事業による小型発電機1台の寄贈を受けました。

発電機は、燃料としてLPG（液化プロパン）ボンベを使用します。定格出力は100V交流、9.0A、ボンベ1本で約1時間程度使用できるそうです。公民館内で保管しています。

福寿会長(右)から寄贈を受ける今高会長



編集 後記

総務広報部会員になって3年目。それまで「東部だより」の存在さえ知らなかつた私が、今年も続けさせてもらえるのは、心の広い部会員さんたちのおかげです。そして、各町や学校、各部会の催しのため、一生懸命活動されている人たちの存在も知りました。

人と話すことが大好きな私は「楽しい現場からは楽しいものが生まれる」と信じています。今年度も部会員さんとの会話を楽しみに、よりよいものが作れるよう編集会議に出席しようと思います。

(藤岡 智子)